



コリアンネットあいちの  
障がい者自立支援事業に向けて



あいちムジゲ会役員会議が3月28日にいこいのマダンでありました。全国のウリハッキョへの障がい児自立支援サポーターとして活躍する李恵順先生、愛知県立大学の研究者で活躍する金仙玉さん、わっぱの会の職員でボラムティアの李英子さん、名古屋朝鮮初級学校の孔順南先生も参加していただきました。B型就労支援と同時に生活介護をともにした多機能型をめざしてはどうか、障がい者のためではなく「ともに」の視点に立つことが大事ではないか、ウリハッキョ保健教育支援ネット事業としての活動をあいちムジゲ会が担えるのではないかなどなど、様々な意見が交換されました。また、NPO法人カシオペアさんが企画した特別支援教育支援員養成講座に参加したあいちムジゲ会の役員たちが内容報告をして、それを実践する第一歩として個別支援計画の作成などをしてみようかと話し合いました。3時間の会議があつという間でした。  
※月に1回の勉強会と会議実施中!

15周年をどのように迎えるか

10月29日、あいちムジゲ会は満15周年を迎えます。ボラムティア主導であった初期の活動を大切に伝承して行こうとする現役の役員たちは、15周年に向けて、あいちムジゲ会と関わった家族、ボラムティアたちのインタビューと15周年の軌跡を記録するDVDを制作することを決めました。尚、例年通り11月23日には記念イベントを催し、初代家族たちに参加していただき、昨年に続く一般参加者の方々と交流会を企画します。  
また、ウリハッキョでの学生ボラムティアの継続的なかわりのよびかけ、保健教育支援ネット事業の土台づくりをしようと話し合いました。

ウリハッキョ保健教育支援ネット事業の一環として

4月2日、名古屋初級学校の全先生方との障がい児特別支援教育について初めての勉強会を実施しました。あいちムジゲ会の役員たち3人が、体験と特別支援教育養成講座プログラムに基づいて話し、個別支援計画の必要性とこれからの対策について話し合いました。発達障害に関する正確な知識と家族のカミングアウトは本人の成長をサポートする大前提であること、教育の現場に福祉の視点が必要であることを共有しました。学期に一回のペースで、勉強会をすることが確認できました。ピアカウンセラーとしての役割を果たす3人の姿が頼もしかったです。



へバラギ学園

東海・北信ウリハッキョ高学年たちの年に一回行われるへバラギ学園(5月15~17日)にて、医療ボラムティアの朴鶴順さんが「いのちの授業」(6学年)を担当しました。



多文化ネット・クミヨ(夢よ)からの  
お知らせ

2015年3月1日よりコリアンネットあいちを応援する任意団体としてコリアンネットあいちから分化したクミヨでは、「在日コリアンの事知っていますか」をテーマに、「つくりんぐ事業」というかたちで、本、資料集の発行計画(1世のハンメたちが教えてくれたこと〔仮称〕など)、多文化共生1・2・3プロジェクト「ハンメの食卓-日本でつくるコリアン家庭料理」の伝承(コウケンテツさんの講演会などの企画進行)、現代の朝鮮通信使あいちプロジェクト(朝鮮通信使の足跡を訪ねてフィールドワークなど)の誕生にたずさわっています。



4月26日にウィルあいちで行われた「多文化共生1・2・3 in あいち」-300名が集い、オープニングトーク、コウケンテツさんの講演、コリアンフーズの試食、寸劇、展示会と盛りだくさんでした。多文化共生と「ハンメの食卓」の二大柱を掲げるモデルイベント。今後はプログラムの全国へのバック提供、岐阜、三重での開催、料理教室を予定しています。

実行委員 代表 川口祐有子

昨年のフィールドワーク「朝鮮通信使-愛知の足跡を訪ねて」に続いて、今年開始した現代の朝鮮通信使あいち主催の「朝鮮通信使の服づくり」。講演会と展示会が5月17日にウィルあいちで開催されました。戦後70年の今日、朝鮮通信使の歴史に大いに学びたいと思います。代表 平山良平

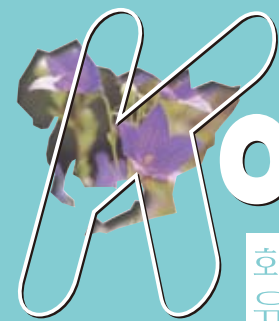


代表 松井妙子

コリアンネットあいちみなさまのご支援ご協力で育てられています!  **마음속으로부터 감사 를 드립니다!** (順不同、敬称略) 新規賛助会員、サポーターを募集しています。お申込ご希望の方はご連絡下さい。

- ◆正会員  
長岡進、李哲秀、朴玉連、卞鮮華 各3,000円
- ◆賛助会員  
フジタクシー20,000円、金賢旭、金在根 各10,000円、李絹枝6,000円、金甲生、岩沙桂子、山崎とよみ、姜米子、斎藤亮人、鄭英淑、金子和子、金春子、裴昌姫、張山民子、金君子、高山清子 各3,000円

- ◆サポーター  
奥村和子、伊藤孝司、岩沙桂子 各2,000円、金淑子1,000円、金春子500円
- ◆寄付  
鄭福昇100,000円、サラシエ募金(あいちムジゲ会へ)70,000円、(無年金高齢者支援)70,000円、多文化共生1・2・3プロジェクト 50,000円、沈載吉15,000円(あいちムジゲ会へ)



# Korean Net Aichi News

화목하고  
유족하며  
힘 있는

愛知県のコリアン同胞を主な対象に、高齢者のための介護保険事業、障がい者のための支援活動、生活・法律相談などを行い、日本の社会において共生を目指し、地域ネットワークを構築し、ボランティア活動を促進することを目的とします。

동포사회를 위하여

25号

2015年6月15日発行  
名古屋北区大曾根4丁目6番60号  
TEL.FAX.052-910-3309  
E-mail:kn-aichi@oregano.ocn.ne.jp  
http://www.kn-aichi.or.jp

コリアンがこよなく愛するトラジ...その根は食用、薬用としていつも暮らしの中にあった。コリアンネットあいちもトラジの根のようにトンボたちの暮らしに深く根付いていきたい。

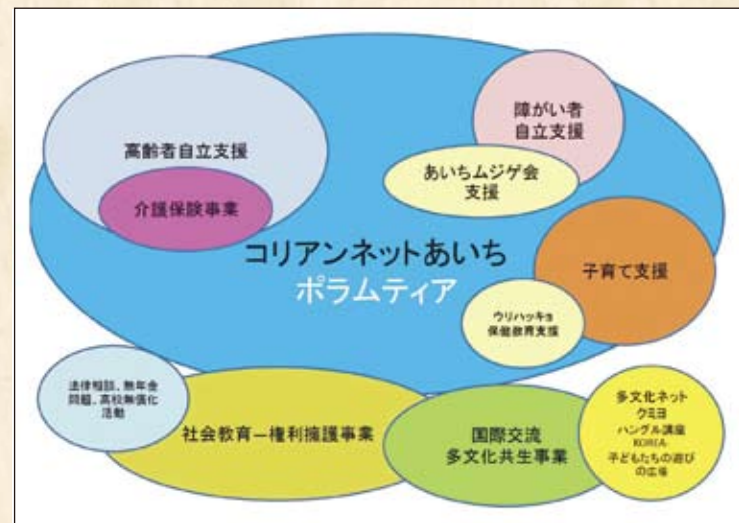
## ..... コリアンネットあいちが目指すもの!..... それはひとりひとりが幸せになれる差別のない社会をつくること!

「1世の方々の安らぎの場所をつくりたい」と、2世の有志たちが開始したデイサービスセンターいこいのマダン。その当時のご利用者さんたちは9割が1世でした。2015年現在、いこいのマダンのご利用者さんたちは、2世が7割になり、日本の方たちも利用されるようになりました。

在日コリアンの文化にもふれられるマダングループの可能性をしっかりと生かした高齢者自主支援事業を展開し、また、あいちムジゲ会を中心とする新たな障がい者自立支援-就労支援事業所開設を実現し、ウリハッキョ保健教育支援ネット事業を展開して行く所存です。

理事会一同

※1世とは、日本の植民地時代に日本へ渡って来た在日朝鮮人のことで、その子孫を2世、3世といいます。



第13期理事会

- [理事長] 南洋二
- [理事] 秋月鳳(新規)、沈榮愛(新規)、村上忠明、朴美順、張和詠、金順愛(事務局長)
- [顧問] 申美貴 [事務局] 金東淑、朴鐘寿
- [監事] 安德守、姜在龍

|         | いこい     | せと      | ゆめ  |
|---------|---------|---------|-----|
| 1世の割合   | 20%     | 70%     | 45% |
| 2世の割合   | 70%     | 20%     | 55% |
| 日本人ご利用者 | 10%(3名) | 10%(1名) | 0%  |

せとマダン いこいのマダン

## はじめての合同ピクニック

いこいとせとの初めての合流ピクニック。たくさん笑顔がはじけました。3か所のマダンは、それぞれの個性を生かしながら毎日を過しています。せとのお肉屋さんが提供してくれたスジ肉を3か所で分けて使わせていただいたり、ゆめ畑の収穫を3か所で分けて味わったり、お互いの知恵を生かしながらレクリエーションを創造したりと。

この度の合同ピクニックでは、いこいのスタッフから「せとのみなさん、すごく歩行が安定してみえる!」との感想が聞かれました。

なかなか3ヶ所が合流するのは大変ですが、別のマダンへの訪問なども企画できたらいいですね。

